

政策研究センター リサーチ・プロジェクト 成果報告書

提出日: 2020/2/28

申請者(リーダー): 氏名 細江宣裕 職名 教授

リサーチ・プロジェクト名:

(和文) 農業・食品生産の国際分業と国内協業

(英文) International Value Chain and Domestic Linkage in Agri-food Sectors

期間(yyyy/mm/dd): 2019/11/1 から 2020/3/31 1年間

共同研究者: 氏名 職名 所属機関・部局名 (備考)

共同研究者1 阿久根優子 准教授 日本大学生物資源科学部

共同研究者2

共同研究者3

共同研究者4

共同研究者5

リサーチ・プロジェクトの目的

農家経営統計調査の個票データを用いて、農家の生産性と生産物の差別化度合い(品種改良、消費者の好み)をマイクロ統計的手法で計測する一方で、マクロ・モデルを用いて貿易自由化をシミュレートする。近年、製造業のグローバル・バリュー・チェーンを通じた国際分業の分析にこの手法が用いられ始めた。同様の手法を農業・食品分野にも応用して政策分析する。農業・食品分野の既存の経済分析は、コメや小麦等の穀物中心であった。しかし、今般の新しい農政では、野菜・果樹、畜産品、それらの加工食品が重要な役割を果たす。これらに焦点を当てて、新しい農政を数量的に評価する。

研究成果の概要(800字程度):

大きく分けて2つの方向で研究を行った。1つは、日本の農家に関して生産性を計測し、その生産性の分布がどのようになっているかを生産性の分布を特徴付ける係数(パレートのk)を推定することで確認し、さらに、財バラエティ間の代替の弾力性(類似した製品間で、どれぐらい代替性があるかを示す係数で、これが小さいほど市場がより細かく分断されており、その分だけ独占レントが大きい)を計測した。もう1つは、それら2つの推定された係数を用いて、世界経済モデルを構築し、こうした独占的競争と農家・企業間の生産性の異質性がある状況下で、貿易自由化によって、農業・食品産業がどの程度影響を受けるかをシミュレーション分析した。

それぞれ、前者については、『農家経営統計調査』の個票データを用いて、農家の全要素生産性とその分布を導き、合わせて、Crozet and Koenig (2010, Canadian J. Econ.)の手法を用いて、差別化財(バラエティ)間の代替の弾力性を推定する。分析の結果、施設野菜作や施設花卉作といった施設園芸関連、畑作や果樹作で、生産者間の異質性が相対的に高いことが確認された。製品差別化の程度は、畜産関連の営農類型で相対的に高い傾向にある。バラエティ間の代替の弾力性は大きくても3程度であり、製造業について得られる弾力性と大きく異なるものではないことがわかった。後者については、いくつかある農業・食品部門のうち、自由化を通じて輸出や生産を拡大できる可能性があるのは、野菜・果樹部門と、加工食品部門の2つ程度であることが明らかにされた。

研究成果を2019年11月にGRIPS DPとして公開するとともに、2篇の論文を学術雑誌に投稿し現在査読中である。

研究成果:

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

※政策研究センターのリサーチ・アシスタント(RA)雇用にて採択されたプロジェクトについては、RAを雇用したことによって得られた研究成果(例:RA氏名が記載された①論文発表、学会発表など。予定も含む。)を必ず記載してください。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

成果報告書(研究成果一覧)

研究成果一覧:

(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)

(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。))等掲載)

※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。

※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

著者	¹ 件 標題	雑誌名 /所収図書(の編者・図書名・ 出版者等	巻・号 /章・節	¹ 件 発行年	開始 ペー ジ	終了 ペー ジ	⁰ 件 査読 (有=1)	⁰ 件 国際共 著 (yes=1)	DOI	¹ 件 オープン アクセス (yes=1)
1	Yuko, A., <u>Hosoe, N.</u>	Microdata Analysis of Japanese Farmers' Productivity: Estimating Farm Heterogeneity and Elasticity of Substitution among Varieties	GRIPS DP	19-24	2019	-	-	-	doi/10.2 4545/00 001714	1
2						-				
3						-				
4						-				
5						-				

図書:

※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

著者・編者	⁰ 件 図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1				
2				
3				
4				
5				

口頭報告・学会発表等:

※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。

※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

報告者等	⁰ 件 論題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1				
2				
3				
4				
5				